

× 文化の秋

志木の伝統

志木市文化協会

「志木市文化協会」は、邦舞踊・洋舞踊・邦楽部・民謡部・太鼓部・歌謡部・音楽部・茶道部・華道部・殺陣部の計10部門、37団体で構成され、今年で63年目を迎えます。

また、芸能文化の普及啓発や振興、高揚を図るとともに、広く市民に芸能活動の発表の場を提供し、表現力の向上のため、志木市民文化祭や志木市芸能祭を毎年開催しています。

多彩な芸術文化が織りなす秋の祭典

第54回志木市民文化祭

日時／11月1日(土)～3日(月)
10時～16時

場所／芸能：総合福祉センター

展示：市役所1階・3階(1日：13時～)

内容／芸能：邦舞踊、洋舞踊、民謡、歌謡ほか

展示：茶道、華道、将棋・手芸、文化財ほか

問合せ／生涯学習課 ☎048(473)1134

受け継いできた伝統文化を次世代へ

伝統文化は日本人の豊かな気持ちの糧であり、時代を支えてきた重要なものです。60年以上の歴史を重ねてきた志木市文化協会として、私たちは責任を持って志木市の伝統文化を後世に継承していかなければならないという思いで活動をしています。

新河岸に伝わる舟唄をはじめ、これまで各時代や分野で受け継がれてきた多くの人の想いが伝統文化として今につながってきています。多様化する昨今においては、受け継いできた伝統文化を継承するということは決して容易ではありませんが、文化協会の仲間たちと力を合わせ、日々考え、努力することで「なくしてはならない」伝統文化を途絶えさせることなく次の世代へしっかりとつないでいきます。

志木市の伝統文化に触れる

文化協会では、志木市民文化祭や令和8年2月15日(日)開催の志木市芸能祭の運営を行っています。文化協会会員だけでなく、一般の参加者の皆さんや来場いただく皆さん全員によって、つくりに上げられるイベントだと思っています。志木市の伝統文化に触れる機会として、皆さんにはぜひとも足を運んでいただきたいです。

また、文化協会への入会をご希望の方や活動にご興味のある方は、ぜひ、☎090(3200)4044]までご連絡ください。たくさんの皆さんからのご入会をお待ちしています。



志木市文化協会 会長
那須 博志さん



殺陣部

～今年度、新たに設立～

殺陣の存在をより多くの人に知ってもらうことができるよう日々活動しています。

殺陣は人に当てないものですが、見ている人には本当に斬っているように見える迫力や臨場感があります。さらに殺陣の所作や流れなどには美しさがあり、アニメやCGではなく現実の人が魅せる演技や演出をぜひ体感してほしいです。

現在、子どもから大人まで幅広い年代の皆さんと活動をしています。興味のある人はぜひいっしょに殺陣の魅力を広めていきましょう。



金子 早苗さん

邦舞踊

～表情や立ち振る舞いに注目～

現在、邦舞踊部門では15の団体が活動をしています。文化祭や芸能祭は、日々の練習の成果を披露する重要な場であり、各団体が活躍する姿に期待しています。ご観覧の際には、踊り手の表情や立ち振る舞いに注目し、緊張感のある真剣な表情や舞の決めポーズなどをぜひ、楽しんでいただきたいと思います。

また、小・中学生を対象とした文化体験道場では、邦舞踊の部門もありますので、踊りが好きな子どもたちがたくさん参加してくれると嬉しいです。



さかもと たつお
阪本 達雄さん

洋舞踊

～全身を使って自分を表現～

私は幼い頃から踊ることが大好きでした。中でも「モダンダンス」は、形式に捉われることなく、感情などをダンスで自由に表現するもので自分にとっても向いていました。

今では子どもから大人まで多くの皆さんを指導する立場にあり、ダンスには楽しみながら自己表現をする魅力があるとより実感しています。



あおき
青木 りえさん

文化祭ではフラやジャズ、ヒップホップが、2月の芸能祭ではモダンダンスの発表もありますので、ぜひご観覧いただき、大きな拍手を送ってほしいです。

邦楽部

～好きなことを続けられる幸せ～

お箏の独特な音色に魅力を感じ、小学3年生の頃から一筋に続けてきました。家族の協力や理解、恵まれた環境、幸運な出会いなどに支えられてきましたが、飽きることなく続けて来られたのはやはりお箏が好きだったからです。

振り返ると辛く困難な時期もありましたが、大好きなお箏を仕事としても続けられることはとても幸せであり、大舞台での演奏から得られる満足感や達成感は何物にも代え難いものです。自分を常に磨き高めてくれるお箏は私の生きがいです。



いわした ひろその
岩下 博苑さん

民謡部

～やめられない魅力がここに～

民謡は、動作や姿勢、呼吸など全身に意識を巡らせて唄います。こうすることで良い歌声となるほか、健康の維持やストレス緩和にもなっていると感じています。これまで民謡を50年以上続けてこられたのも、そしてこれからも続けていたい・やめられないと思えるのは民謡だからこそだと思います。



まつだ りゅうの
松田 謡雲さん

文化体験道場では子どもたちに指導もしています。子どもたちの吸収力の高さに驚かされつつも楽しんでます。文化祭のステージ発表もありますので、ぜひ見てあげてほしいです。

太鼓部

～技術と精神を育む～

太鼓を子どもたちに教えるときには、太鼓の技術だけでなく、精神の成長につながるように指導をしています。太鼓には、その子の内に秘めているような意外性を引き出す力があると思っていて、普段は控え目な子どもでも、太鼓をとおすことで新たな一面を見せてくれることもあるんです。

こうした姿や成長を見ることができると嬉しく、やっていて良かったと実感する瞬間です。

今後たくさんの人に太鼓を知る、興味を持つきっかけを作れるよう工夫して活動を続けていきます。



こひなた ひろゆき
小日向 祐幸さん

歌謡部

～歌をうたって楽しい気持ちに～

私はみんなで集まっていっしょに歌をうたったり、おしゃべりをしたりすることが何より楽しみで生きがいだとも思っています。歌うことは楽しいことだけれど、歌を披露できる場や機会が少ない現状があると感じています。文化祭や芸能祭などの多くの人が集まる機会・発表の場を大切に、これからも守っていきたいです。

若い方からご年配の方まで、歌うのが好きな方はぜひ歌謡部でいっしょに楽しく歌をうたいましょう。



こばやし
小林 コト子さん

音楽部

～成長するための大事な場所～

協会などに所属せず、個人で・誰でも発表をできる場があるのはとても貴重なことです。舞台上で発表をするという目標があること、また、そういった経験をするのは大きな成長につながるものです。ぜひ文化祭や地域の演奏会などを大いに活用してほしいと思います。

豊富なジャンルがある文化協会だからこそ、部門を超えた新たな試みが生まれたりもします。こうしたつながりや挑戦が自身の発表やサークル活動に生かされています。また、活動の周年記念演奏会を11月末にいろは遊学館で開催しますので、ぜひお越しください。



よしもと けいこ
吉元 恵子さん

茶道部

～和の精神で心を豊かに～

茶道のお稽古を重ねることで、どんなときでも平常心を保つ、心の穏やかさを育むことができます。礼儀や作法を頭で覚えるだけではなく、お稽古をとおして和の精神を心と体の両方から豊かにしていくことを心がけています。

楽しく交流を深めながら、助け合って活動が続け昨年で40周年を迎えました。文化祭や3月開催予定の総合福祉センターまつりではお茶席を準備します。おいしいお茶やお菓子、季節の移ろいを楽しみにきてください。



こづか そうしゅん
小塚 宗春さん

華道部

～優しい気持ちが心を育む～

文化体験道場で講師を務め、強く印象に残ったことがあります。参加していた子どもたちから「先生ありがとう」とお手紙をもらったことです。私は、素直な気持ちをありのままに伝える勇氣に、何よりこの優しい心に感動しました。

お花を生ける、愛でることで心を豊かに育てることができるんだと、華道という伝統文化を通じて伝えていけることが何にも代え難い喜びだと思っています。



きくち しげつ
古賀 秀月さん

× 志木を彩る

芸術の秋

志木市美術協会

設立34年を迎える「志木市美術協会」は、日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の6部門で構成され、現在73人の会員が入会しています。

また、毎年秋に開催される志木市美術展覧会においては中心的な役割を担い、市民の美術思想の普及と創造的表現力の醸成を図り、志木市の文化向上に貢献しています。

秋の市役所で楽しむ芸術作品

第33回志木市美術展覧会

日時／11月1日(土)～3日(月)

1日：13時～16時

2日：10時～16時

3日：10時～16時

場所／市役所1階・2階・4階

内容／日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真

問合せ／生涯学習課 ☎048(473)1134

一致団結して、つくり上げる



志木市美術協会 会長
はせべ せつこ
長谷部 節子さん

私は志木市に引っ越してきて、美術展覧会への出展をきっかけに美術協会へ入会しました。工芸部門にて主に織物を制作し、現在は工芸部門の部長と美術協会の会長として活動しています。

会長としては9年目を迎え、織物の制作は45年となりますが、美術協会をまとめるのも、制作を続けるのも一人では困難です。協会の運営は事務局をはじめ、各部門の部長や会員の皆さんの協力が必要不可欠です。また、作品の制作も皆さんの作品を見たり、それぞれの考え方を知ったり、さまざまな刺激を受けて自分自身に生かすことができています。

こうして互いに助け合い、高めあいながら、作品や事業などをつくり上げていけることを願っています。



▲草木染織「暁闇」

作品の魅力を

作品はその制作者を映したものだと思っています。制作者のその時・その瞬間の思いや感情、考え方、環境など、さまざまな状態が現れているものです。

今回の市展の応募数は昨年を上回りました。高校生たちの青春真っただ中の作品をご覧になって、小・中学生の皆さんは未来像を、大人の皆さんは昔の自分を思い出してみるのも秋の一日にふさわしいかもしれません。

全体をとおして共鳴・感動したり、興味を持つ気になる作品に出会えましたらとても嬉しいです。分からないことなどがありましたら、ぜひ、近くの係にお声がけください。もしかすると作品の制作者だったりするかもしれません。

志木市の芸術が集う場所

美術協会の大きな活動の一つに「志木市美術展覧会(市展)」の開催があります。市展には、協会会員の作品はもちろん、市民の皆さんの作品や高校生の作品も展示されます。

また、協会会員による「美術協会展」も2年に一度開催しています。こちらは協会会員による自慢の作品が展示される場となりますので、ぜひとも市展だけでなく、美術協会展にも足を運んでいただき、その目で志木市の芸術を楽しんでもらえると嬉しいです。

※美術協会展の開催は令和8年7月頃を予定しています。詳しくは、広報しきや市ホームページなどでお知らせする予定です。

美術協会へ入会を 希望の方へ

志木市美術協会への入会をご希望の場合、まずは美術協会事務局へご連絡ください。

☎048(472)0411

日本画 ～目には見えない想いを絵に込めて～

絵を描いて50年以上になります。絵を描いていることが好きで、絵を描かないと一日が終わらないと思えるくらいです。

想いや感情などの目に見えないものを、作品を見た人に訴えかけられることができるよう「見えないものを見えるように描く」ことを大事にしています。

日本画部門は、会員同士が助け合いながらボランティア精神を持って活動していますので、ぜひいっしょに絵を描いてみませんか。

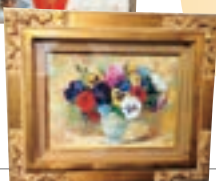


やまもと かずお
山本 一枝さん

洋画 ～生涯現役で絵を描き続けたい～

子どもの頃から絵を描くのが好きで、当時は絵も物語もオリジナルの紙芝居を作成して披露するくらいでした。がむしゃらに絵を描き、絵一辺倒に続けられたのは家族の協力と理解があったからでした。おかげでさまざまな賞をいただいたほか、自分の作品が展示されたり、教室を複数持ったりと、家族の協力で胸を張って応えることができました。

これからはゆっくりと自分のペースで絵を描き続け、それでも作品を描くからは弟子に負けられないという気持ちを持って、楽しい時間を過ごしていければと思っています。



はら みつる
原 ミツルさん

工芸(陶芸) ～魔法の宝箱をあけるワクワク感～

窯をあける瞬間に陶芸の大きな魅力があるんです。焼き上げた結果がどうなっているか、まさに宝箱をあけるようなワクワク感があります。狙い通りになったときは思わず「やったぜ」と嬉しくなりますし、思い通りにならないこともあります。失敗は次への糧でもあります。そうして何度もチャレンジを続け、自分の感覚を研ぎ澄まし、作品に「自分らしさを出す」ことを心がけています。

陶芸教室で作る楽しみ・使う喜びを粘土に触れて体感してほしいです。最初は誰でも初心者です、気楽な気持ちでぜひ楽しんでください。



あら い まさひと
荒井 将仁さん

書 ～書体と自由な発想で自分を表現～

私は書の道に携わり 60 年になります。教室に通う子どもたちの成長を見守りながら、幅広い世代の皆さんが書を楽しみ、それぞれの個性が伸びるよう心がけています。

書道は日々の鍛錬を重ねることでさまざまな書体や自由な発想を通じて自分を表現できる芸術です。「美しい書に触れることで感性豊かに生きる世界があることを次の世代に伝えたい」この想いを胸にこれからも日々お稽古を続けていきます。書に親しみ、いっしょに筆をとって活動してみませんか。



おおはし しゅんかい
大橋 春海さん

写真 ～世界を巡り、思い出を写真に～

海外へ行くことをきっかけに写真撮影を本格的に開始しました。これまで約 60 か国へ行き、それぞれの国での人や動物、景色などたくさんの思い出を写真に収めてきました。

記録にも記憶にも残すことができるのは写真の大きな魅力だと感じます。さらに、今でも写真を通じてできたつながりや交流があり、年を重ねた今も元気に活動できる原動力となっています。

現在、写真部門への参加者を募っています。少しでも写真に興味のある人はぜひ、いっしょに活動してみませんか。



ほり まさお
播磨 登さん